

多くの学問が交錯 人に有益な『知』に

『人間と自然環境の世界誌』刊行

「融合領域科目」の授業を新書で出版

専大での講義を基に、人と自然環境のかかわりを追究した『人間と自然環境の世界誌』(専修大学出版局、900円+税)がSI Librettoから刊行された。



井上幸孝文学部教授(歴史)と佐藤暢経営学部教授(地球科学)海底岩石学、テクトニクス)が共編。高校生、大学生が読んで理解しやすい内容、手に取りやすい新書版になった。

執筆は両教授のほか学内外の9研究者。歴史学、動物生理学、文化人類学、地球科学、経営学、文学など多彩な分野からアプローチしている。内容は、2015年から始まった専門科目と教養科目を結ぶ融合領域科目「学際科目(人類と自然)」で2年間の講義が基になっている。毎回ゲスト講師を招き「文系、理系の枠にとらわれない幅広い学問領域から講義を展開した」と担当の井上教授。佐藤教授も加わり、講義後は学生と一緒に「砂漠で生きる」ラックダにたよる人間の生活」では、人間とラクダがお互いに助け合っている姿を漠を生き抜いている姿を坂田隆石専修大学理工学部教授(栄養生理学、震災復興)が紹介している。フランス語、現代演劇



共編者の井上教授(左)と佐藤教授

「人骨から老病死を探索」の講義風景

「融合領域科目」の授業を新書で出版

そのほか「人骨から老病死を探索」(病原体の移動)なども、各テーマの理解を深めるトピック

教養ゼミ4学生 研究成果を発表

教養テーマゼミナールは自然科学分野をはじめ演劇、スポーツ、文学、政治、都市論など幅広いテーマに取り組みのが特徴。専門領域を越えた学際的な視点が身につく。全学部を対象に本年度は32ゼミが開講された。

- 1月31日、生田キャンパスで、教養ゼミナール論文の発表会が開かれた。テーマは堆積物、熱水鉱床、動物園、シヨックの新たな提案などだった。発表した学生は次の通り。(敬称略)
- 秋田亮一(経営4)
- ▽川村絵里(経営4)
- ▽上佐藤暢ゼミ▽宮永颯人(経営4) ▽櫻井文字ゼミ▽叶叶(商4) ▽梶原勝美ゼミ

地区防災計画学会論文賞を受賞

金思穎さん (院文博1)

文学研究科博士後期課程社会学専攻1年次の金思穎さんは、地区防災計画学会(会長・室崎益輝)で論文賞を受賞した。同賞は、同学会における最高賞。金さんは14年度にも同賞で、若手を対象にした奨励賞を単独受賞している。

動について研究をしている。今回の受賞論文は、名古屋大学や福岡大学との連携により、16年4月に発生した熊本地震をテーマに考察を行ったもの。

社会知性開発研究センターの客員研究員を務めており、4月からは、日本学術振興会の特別研究員(DC2)に内定しているほか、熊本地震に関する研究が高く評価されている。



地区防災計画学会で研究を発表する金さん

神奈川県立新城高と 高大連携協定 16校目

専修大学は神奈川県立新城高等学校(川崎市中原区)と高大連携協定を締結した。今後、高校生が大学の授業を聴講することや、大学生が教職版イとは、大学と高校が教育交流に関する研究協定を結び、幅広い相互交流を期待を寄せた。



握手を交わす加藤校長と佐々木学長(右)

商学部長賞 2グループ19個人に



学部長賞の受賞者と渡辺学部長(前列左から4人目)ら指導教員

商学部の学部長賞と学部奨励賞の受賞者が決まり、表彰式が2月3日に生田キャンパスで行われた。学部長賞は2グループ19個人、同奨励賞は6グループ27個人。渡辺達朗学部長から賞状が贈られた。

ネット情報学部長賞 1グループ4個人に



受賞者と江原学部長(左端)

ネットワーク情報学部長賞に1グループ4個人が決まり、1月24日に行われた1年次生向けのプログラム説明会で、江原淳学部長が賞状を贈った。

大関さん連覇

世界学生囲碁王座戦学生囲碁の世界一を決める第15回世界学生囲碁王座戦(日本経済新聞社など主催)が2月21、22日の両日、都内で開催され、日本代表の大関さん(商2)が写真が大会史上初の連覇を遂げた。同戦は、世界各地から選出された16人が出場。大関さんは豪州、中国、台湾、米国の各代表を破り栄冠を勝ち取った。「4人とも強い相手だったので優勝は本当にうれしい。今後も納得のいく結果を打っていきたい」と喜びを表した。大関さんは学生囲碁3大タイトルである学生本因坊、学生十傑戦、学生王座戦での優勝経験があるほか、昨年(第62回)日本アマチュア本因坊決定戦(毎日新聞社など主催)で優勝、アマチュア囲碁のトップに立っている。



大関さん連覇

展開するもので、2003年の開始以来16校目。ぶのは初めて。

帆(4)▽菊池小巻(2)▽松井涼(3)▽桑山裕也(4)▽松尾侑亮(3)

【レスリング部】中村倫貴(2)▽松雪泰成(1)

【バスケットボール部】

【バレーボール部】

【ソフトテニス部】

【卓球部】

【バドミントン部】

【バレーボール部】

【バスケットボール部】

【ソフトテニス部】

【卓球部】

【バドミントン部】

【バレーボール部】